

学生映画祭でトークショー

俳優 小沢さん ワクワクを映画に 漫画家 杉作さん 考え込まず撮影を

夕張



軽妙なトークで会場をわかせた俳優の小沢さん(左)と漫画家の杉作さん

【夕張】「夕張国際学生映画祭」十三日、市内のホテルで「学生映画祭2008」(実行委員の小沢志さんと漫画家杉作さん)の二画家のトークショーを行い、市民との交流パーティー

も開かれた。小沢さんは学生が制作した初日の上映作品について「アート(芸術性)に偏った作品が多い。娯楽として自由な発想で自分がワクワクすることを映画にしてほしい」と呼びかけた。杉作さんは「楽しかったらいいから、普通じゃない作品が生まれる。考え込まずに撮影

を楽しんで」と若手にアドバイス。映画界の舞台裏の話を交えながら、軽妙なやりとりで来場者約四十人を笑わせた。この後、屋外に設置されたテントでパーティーが行われ、あいにくの吹雪の中、学生たちは手作りの豚汁や夕張産芋カキ、干を使った春巻き料理などをほおぼり、冷えた体を温めていた。

最終日の二十四日は、日本や中国、フランスなど、世界四方国八作品からクラウンプリを授かる「国際学生映画AWARD」が

行われるほか、市内の緑陽中三年の佐々木亮介君と、夕張高一年の小林和希君がそれぞれ監督を務めた作品が上映され、閉幕する。(田島工幸)

夕張明るく28作品

きょうから国際学生映画祭

【夕張】二十二日から国際学生映画祭。四日に夕張市のホテルシムラを含め、二十八作品を上映する。ユイパロで開かれる「夕張国際学生映画祭2008」の実行委員は二十二日、その生徒が撮ったのは、それぞれ「メロン」のなる頃、期間中、夕張市内に「ニコ・ミュージック」

の中生徒が撮った作品を、このほか、全国の学生から募った三百二十四作品から選んだ十六作品や、クエンティン・タラント監督の「キッズ・ブルー」(二〇〇七年ドハウス)など、学生と市民が交流するパーティーも開く。

期間中、札幌―夕張間と夕張市内を走る無料送迎バスを運行する。詳しくは同映画祭事務局(電話0123・52・0666)へ。